

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	平成7年～		
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	03 歴史と文化の輝くまちづくり
	小項目	施策	02 文化財の保存と活用
事務事業名	01	文化財保護事業	
根拠法令・例規等		文化財保護法	
関係先		担当課(室)	生涯学習課
		職・氏名	文化係長 石井啓
		電話	0869-64-1841

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	文化財に興味のある人全般。
目的(何のために)	文化財を保護し、かつ、その活用を図り、もって市民の文化向上に資することを目的とする。また、六古窯のひとつと言われながら、調査・研究が20年遅れていると言われている備前焼研究の現状の中、備前焼の歴史について未解明なことを明らかにする。
行政活動(どのような方法で)	市内指定文化財についての周知。 歴史民俗資料館等との連携によるフォーラム等の開催。 説明板の修理・補修。 国指定史跡等の整備。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	備前市の文化財について多くの人に情報を提供することで、郷土の文化財の保護や活用について理解と興味を持ってもらい、後世にまで貴重な文化財を守っていく認識を深める。

事業の実績				
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
備前歴史フォーラム延参加者数	人	184	84	100
文化財保護審議会開催回数	回	3	3	3
広報びぜんによる文化財の紹介	件		9	9

事業費				
直接事業費		15,057	11,071	9,208
必要人員	人	1.64	0.86	0.98
必要人員単価	千円	10,229	5,887	6,793
事業費計		25,086	16,958	16,001
結果指標				
国・県支出金		6390	4600	4278
受益者負担				
繰入金				
その他( )				
一般財源		18,696	12,358	11,723
受益者負担比率	%			

結果指標				
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
備前歴史フォーラム延参加者数	人	184	84	100
対前年比	%		45.7%	119.0%
活動コスト	円	25,086,000	16,958,000	16,000,000
単当たりコスト	円	136,337	201,881	160,000
広報びぜんによる文化財の紹介	件	0	9	9
対前年比	%	-	-	100.0%
活動コスト	円		16,958,000	16,000,000
単当たりコスト	円	#DIV/0!	1,884,222	1,777,778

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
備前歴史フォーラムの参加者平均数	目標値(A)	70	70	70	100
	実績値(B)	92	84	50	到達目標年度
	達成率(B/A)	131.4%	120.0%	71.4%	平成25年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
市の歴史・文化について情報発信を行い、文化財について理解や認識を深めてもらうため、情報発信の場であるフォーラムの参加者数を成果指標に設定する。延人数/日数					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	B
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	備前市内には多くの文化財がある。しかし、文化財に対する認識や興味はそれほど高くない。文化財を保護・保存し後世に伝えていくためにも、市が積極的に関与して文化財を保護していかなければならない。 また、市民に対しても、文化財に対する見識を深めてもらえるよう情報発信を行っていくことが必要である。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> B
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	コストについては、効率の向上に努めているが、文化財の保護・活用には修理や整備費などが必要になるため、今後コストが下がる余地は少ない。
有効性の評価	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	C
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	歴史フォーラムについては、テーマによって参加者数に増減があるため、平成20年度は減少傾向になった。また、情報発信についても改善していく余地がある。 対象者や内容の見直しを行い、情報提供も積極的に行っていくことが必要。

平成21年度の状況				
目標値	結果指標量①	80	結果指標量②	9
状況	拡充		現状継続	見直し
			○	縮小
				整理統合
				休止
				廃止・完了
説明	文化財事業については、平成20年度の反省をふまえ、事業計画の見直しを行っている。情報発信についてもHPの更新を随時行っていく。また、文化財資料についてデータベース化を行い、管理状況の改善を図る。			

総合評価		評価区分<A~E>	B
文化財については、数値で評価することが難しい事業であるので、この評価シートのみで判断することはできない。しかし、事業内容や現状を把握し、よりよい文化財の保護・保存・活用ができるように努めていかなければならない。			
市内文化財については、広報びぜんで紹介したり、フォーラムを開催するなど周知を行っているが、すべてを適切に管理する組織・体制となっていない。効率よく管理していくためにも、資料等をデジタルデータ化することが必要である。			

平成22年度以降の方向性・内容							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				
説明	改善点を見直し、事業を行っていく。						
評価の視点	改善内容			改善時期	改善により期待される効果		
有効性	フォーラムについて、内容を見直し、シンポジウムや講座という形でリニューアルし、情報発信を早めに行い、周知を徹底させる。			平成22年	より多くの人に参加してもらい、郷土の歴史や文化についての理解を興味を持ってもらえる。		
効率性	21年度にデジタルデータ化した管理台帳により、効率的に管理を行う。			平成22年	簡易に使用できる管理台帳により、不十分な組織体制を一部補える。		

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりのコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。